

甲子園大学大学院の授業科目等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、甲子園大学大学院学則第27条の規定に基づき、授業科目等に関する必要な事項を定める。

(授業科目等)

第2条 授業科目、単位数及び卒業要件については、別表第一のとおりとする。

(臨床心理士受験資格)

第3条 臨床心理士受験資格認定に関わる授業科目及び単位数については、別表第二のとおりとする。

(公認心理師受験資格に係る授業科目)

第3条の2 公認心理師試験受験資格に係る授業科目及び単位数は、別表第三のとおりとする。

(雑則)

第4条 この規則に定めるもののほか、授業科目に関する必要な事項は、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。

(規則の改廃)

第5条 この規則の改廃は、評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成24年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別表第一

栄養学研究科(博士前期課程)

授 業 科 目		単 位 数		備 考
		必修	選択	
講義科目	基 礎 栄 養 学 特 論 I		2	5科目 10 単位以上を修得すること
	基 礎 栄 養 学 特 論 II		2	
	応 用 栄 養 学 特 論 I		2	
	応 用 栄 養 学 特 論 II		2	
	食 品 分 析 科 学 特 論 I		2	
	食 品 分 析 科 学 特 論 II		2	
	食 資 源 利 用 学 特 論 I		2	
	食 資 源 利 用 学 特 論 II		2	
演習科目	食 品 栄 養 学 演 習 I	1		
	食 品 栄 養 学 演 習 II	1		
	特 別 講 義	2		
	特 別 研 究	16		
授業科目に係る修了要件		必修 20 単位、講義科目 10 単位を含み 30 単位以上修得すること		

栄養学研究科（博士後期課程）

授 業 科 目	単 位 数	備 考
	必修	
基 礎 栄 養 学 研 究 I	8	研究テーマに即した 1科目8単位のみ必修
基 礎 栄 養 学 研 究 II		
基 礎 栄 養 学 研 究 III		
基 礎 栄 養 学 研 究 IV		
基 礎 栄 養 学 研 究 V		
応 用 栄 養 学 研 究 I		
応 用 栄 養 学 研 究 II		
応 用 栄 養 学 研 究 III		
応 用 栄 養 学 研 究 IV		
応 用 栄 養 学 研 究 V		
食 品 分 析 科 学 研 究 I		
食 品 分 析 科 学 研 究 II		
食 品 分 析 科 学 研 究 III		
食 品 分 析 科 学 研 究 IV		
食 品 分 析 科 学 研 究 V		
食 資 源 利 用 学 研 究 I		
食 資 源 利 用 学 研 究 II		
食 資 源 利 用 学 研 究 III		
食 資 源 利 用 学 研 究 IV		
食 資 源 利 用 学 研 究 V		
授 業 科 目 に 係 る 修 了 要 件	8単位以上修得すること	

心理学研究科（博士前期課程）

区分		授 業 科 目	単位数		摘 要
			必修	選択	
演 習 科 目	心 理 学 コ ー ス	心 理 学 演 習 I A	4		研究分野に応じ、2 科目 8 単位を修得すること
		心 理 学 演 習 I B	4		
		心 理 学 演 習 II A	4		
		心 理 学 演 習 II B	4		
		心 理 学 演 習 III A	4		
		心 理 学 演 習 III B	4		
	臨 床 心 理 学 コ ー ス	臨床心理学演習 I A	4		研究分野に応じ、2 科目 8 単位を修得すること
		臨床心理学演習 I B	4		
		臨床心理学演習 II A	4		
		臨床心理学演習 II B	4		
		臨床心理学演習 III A	4		
		臨床心理学演習 III B	4		
		臨床心理学演習 IV A	4		
		臨床心理学演習 IV B	4		
		臨床心理学演習 V A	4		
		臨床心理学演習 V B	4		
		臨床心理学演習 VI A	4		
		臨床心理学演習 VI B	4		

区分		授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
講義科目	共通	インターナショナルリナリー研究	2		必修2単位
	心理学コース	心理学特論	4	2	
		社会心理学特論		2	
		認知心理学特論		2	
		学習心理学特論		2	
		犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）		2	
		老年心理学特論		2	
	臨床心理学コース	臨床心理学特論＊	4		
		臨床心理面接法特論Ⅰ＊ （心理支援に関する理論と実践）	2		
		臨床心理面接法特論Ⅱ＊	2		
		臨床心理査定演習Ⅰ＊ （心理アセスメントに関する理論と実践）	2		
		臨床心理査定演習Ⅱ	2		
		人格心理学特論			
		投影法特論＊		2	
		発達心理学特論			
		障害者（児）心理学特論 （福祉分野に関する理論と支援の展開）		2	
		心理療法特論Ⅰ＊		2	
		心理療法特論Ⅱ＊		2	
		心理療法特論Ⅲ＊		2	
		学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）		2	
		精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）		2	
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開		2	
		家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践		2	
		心の健康教育に関する理論と実践		2	
		専門関連科目	質的調査法特論		
	社会調査法特論			2	
	多変量解析特論			2	
	社会調査法基礎			2	
	社会調査特系学基礎			2	
	多変量解析基礎			2	
	臨床心理関連行政論			2	
	医学概論			2	
実習科目	臨床心理基礎実習＊	2		臨床心理学 コース必修	
	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ）＊	1			
	臨床心理実習Ⅱ＊	1			
	心理実践実習Ⅰ		4		
	心理実践実習Ⅱ		4		
	心理実践実習Ⅳ		1		
授業科目に係る 修了要件	心理学コース	演習科目8単位、講義科目必修4単位を含み22単位、合計で30単位以上修得すること			
	臨床心理学コース	演習科目8単位、講義科目・実習科目必修16単位を含み22単位、合計で30単位以上修得すること			

（注）*印のついた科目は臨床心理学コースのみ受講可能

心理学研究科（博士後期課程）

区分		授 業 科 目	単位数	備 考
			選択必修	
演 習 科 目	心 理 学 コ ー ス	心 理 学 研 究 I A	4	研究テーマに応じ、 2科目8単位を修得すること
		心 理 学 研 究 I B	4	
		心 理 学 研 究 II A	4	
		心 理 学 研 究 II B	4	
		臨床心理学研究 I A	4	
		臨床心理学研究 I B	4	
		臨床心理学研究 II A	4	
		臨床心理学研究 II B	4	
		臨床心理学研究 III A	4	
		臨床心理学研究 III B	4	
授業科目に係る 修了要件		心 理 学 コ ー ス	2科目8単位を修得すること	

別表第二

臨床心理士受験資格認定に関わる科目及び単位数

－心理学研究科（博士前期課程）－

授 業 科 目	単 位 数		摘 要
	必 修	選 択 必 修	
臨 床 心 理 学 演 習 I A		4	研究分野に応じ、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵのうちから一つを選択し、A及びBの2科目、8単位を修得すること
臨 床 心 理 学 演 習 I B		4	
臨 床 心 理 学 演 習 II A		4	
臨 床 心 理 学 演 習 II B		4	
臨 床 心 理 学 演 習 III A		4	
臨 床 心 理 学 演 習 III B		4	
臨 床 心 理 学 演 習 IV A		4	
臨 床 心 理 学 演 習 IV B		4	
臨 床 心 理 学 演 習 V A		4	
臨 床 心 理 学 演 習 V B		4	
臨 床 心 理 学 演 習 VI A		4	
臨 床 心 理 学 演 習 VI B		4	
臨 床 心 理 学 特 論	4		臨床心理学コースのみ 受講可能
臨床心理面接法特論（心理支援に関する理論と実践）	2		
臨 床 心 理 面 接 法 特 論 II	2		
臨床心理査定演習Ⅰ（心理アセスメントに関する理論と実践）	2		
臨 床 心 理 査 定 演 習 II	2		
臨 床 心 理 基 礎 実 習	2		
臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ）	1		
臨 床 心 理 実 習 II	1		
多 変 量 解 析 特 論	2		A群
インターフェイス・リナリー研究	2		
人 格 心 理 学 特 論		2	B群 1科目2単位必修
発 達 心 理 学 特 論		2	
学 習 心 理 学 特 論		2	
社 会 心 理 学 特 論		2	C群 1科目2単位必修
犯 罪 心 理 学 特 論 （司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）		2	
臨 床 心 理 関 連 行 政 論		2	
精 神 医 学 特 論 （保健医療分野に関する理論と支援の展開）		2	D群 1科目2単位必修
障 害 者（児）心 理 学 特 論 （福祉分野に関する理論と支援の展開）		2	
老 年 心 理 学 特 論		2	
投 影 法 特 論		2	E群 1科目2単位必修 臨床心理学コースのみ 受講可能
心 理 療 法 特 論 I		2	
心 理 療 法 特 論 II		2	
心 理 療 法 特 論 III		2	
資格認定に係る必要単位数	必修 20 単位、選択必修 16 単位以上で合計 36 単位以上修得すること		

（注）・B群～E群については、極力全科目を修得することが望ましい。

- ・上記授業科目は、全て人間文化学研究科博士前期課程（別表第一）の授業科目に含まれている。

別表第三

公認心理師受験資格に係る授業科目及び単位数

－心理学研究科（博士前期課程）－

授業科目	単位数	摘要
精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2	
障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2	
学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2	
犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2	
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2	
臨床心理査定演習Ⅰ（心理アセスメントに関する理論と実践）	2	
臨床心理面接法特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2	
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2	
心の健康教育に関する理論と実践	2	
心理実践実習Ⅰ ※	4	
心理実践実習Ⅱ ※	4	
臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ） ※	1	
心理実践実習Ⅳ ※	1	

※心理実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ）について

① 実習生が、大学段階での実習を通じて得た公認心理師に必要な知識・技能の基礎的な理解の上に、次の（ア）から（オ）までに掲げる事項について、見学だけでなく、心理に関する支援を要する者等に対して支援を実践しながら、実習指導者又は実習担当教員による指導を受けること。実習施設の分野については主要5分野に関する学外施設（具体的な施設については「公認心理師法施行規則第三条第三項の規定に基づき文部科学大臣及び厚生労働大臣が別に定める施設」（平成29年文部科学省・厚生労働省告示第5号）のとおりのうち、3分野以上の施設において実習を受けることが望ましい。ただし、医療機関は必須とする。また、医療機関以外の施設においては、見学を中心とする実習も含む。

（ア） 心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得

- （１）コミュニケーション
- （２）心理検査
- （３）心理面接
- （４）地域支援 等

（イ） 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成

（ウ） 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ

（エ） 多職種連携及び地域連携

（オ） 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解

② 担当ケースに関する実習の時間は270時間以上（うち、学外施設での当該実習時間は90時間以上）とする。従って、授業時間割以外の時間とする。

③ 実習担当教員が、実習生の実習状況について把握し、①の（ア）から（オ）までに掲げる事項について基本的な水準の修得ができるように、実習生及び実習指導者との連絡調整を密に行う。

④ 大学又は大学院に設置されている心理職を養成するための相談室での実習は主要5分野のいずれにも含まれないこととして取り扱う。